

たんぼほ

NO 1 0 0
 H 7 年 10 月 1 日
 - 発 行 -
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100

山本先生のこと

理事長 田中 稔

山本先生の計報を電話で知らされた時、そんな事がと絶句してしまいました。数日前に医院の玄関で笑顔で挨拶され、お別れしたばかりなのに。頭の中が真っ白になってしまいました。

山本先生は熊本に初めて動作法という療育法をとうして、自閉症にたいして理論と実践を持ち込まれた方です。机の上で肩書だけで自閉症と関わっている人が多い中で自ら子どもに触れて、汗を流しながらこつこつとやってこられた方です。まさにその地道な努力が報いられ、実を結ぼうとしていた矢先の時でした。

この夏山本先生から2通のハガキをいただきました。1通は私が書いた冊子と片倉信夫さんの「僕が自閉語を話すわけ」への感想でした。今私は先生を思いながら片

倉さんの本を年代順に並べて読み直しています。

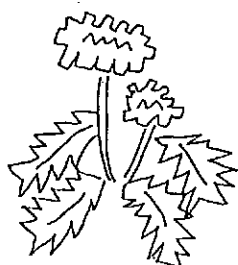
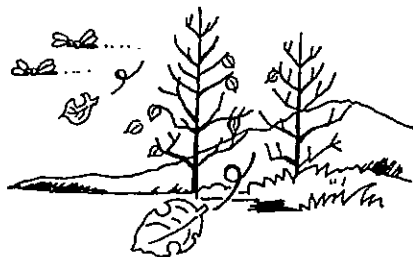
もう1通のハガキは、今回の大阪への出張の直前に書かれたと思われるものです。その中で「この9月に親の会の会長交代があると、親たちが話したくれましたが、先生にはまだまだ引き続き親の会を指導いただき、特に幼児をもつ親達のご指導をお願いします。酷暑が続いておりますが、どうぞ御身ご自愛ください。」これが先生の私への最後のメッセージになり、遺言のようになってしまいました。

花に囲まれた先生の遺影に向かって「先生は障害児への療育に文字通り命を削ってやってこられました。身勝手な親が多い中で、私はいり切れない思いがします。」と問いかけました。

先生が残された「自閉症に『動作法』の道は誰かが引き継ぎ延ばしていかなくてはなりません。

関係者が力を合わせて今後のことを話し合っているところです。

しかし仕事とか、事業とかは、結局その人の「生きざまの表現」なのです。熊本の動作法は、山本先生の自己表現なのです。誰かが直ぐにかわれるというようなものではないと思います。



▽先頃、台風12号が九州を縦断し、大きな被害をもたらした。お蔭様で三気の里には深夜に通過したものの、事の外被害もなかった。

しかし、9月23日に予定していた三気の里・三気の家秋期合同大運動会は、残念ながら中止となつてしまいました。来る10月22日に延期となりました。

例年になく、今年は台風が少ない年とか、しかし勢力は数とは関係なく大きいようだ。

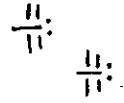
▽今年初めの神戸の大震災以降巷では、防災意識が高まりつつあるようだ。三気の里での防災意識は、日頃いじめられている台風や大雨に対する防備については、あうんの呼吸で対応する素早さは我ながら関心する。とはいえ、わが家の防災となると些か心もとない。

▽10月には、県下の施設の入所者の方々の作品や作物を一同に集め展示即売会が開催されます。三気の里からも参加する予定です。皆頑張つて作った作品に触れてみませんか。

時：10月28日～29日
 場所：熊本市動植物園前広場



王冠ニユース



1班 - 実りの秋

実りの秋、1班の畑にも収穫を待つ、ころころの芋たちが土の中に眠っています。

先日、私達は自分たちの作物の収穫を前にして、金峰山の麓河内町に、葡萄、梨狩りに出掛け、秋の味覚を十分に堪能することが出来ました。

葡萄は巨峰、梨は菊水、山には他に、栗や林檎や蜜柑がたわわに実っていました。将来、三気の里の敷地にも様々な収穫物がとれたらなと思い馳せていました。

普段、高価な果物ですが目の前にたわわに実る葡萄、梨を前にしても、木になる姿は、想像出来ないようで行儀よく眺めているだけでした。一ふさ、一ふさ、手に渡すと、思い出したようにむさぼり、巨峰や梨は、職員が手渡す度に、お腹に消えて行きました。みんなのスピードに負けずに食べていた職員のお腹も、はちきれんばかりでした。かくいう私も一時間ほど、身動き出来ない程楽しむことが出来ました。帰りの運転は、とっても大変でした。

坂井

2班 - もの思ふ秋

毎日汗を拭き拭き作業をしていた暑い夏も終わり、心地よい風が作業棟の中を吹き抜けて行く今日この頃。窓辺の朝顔が遅ればせながらいくつもの花を咲かせ、午前の作業を和ませ、午後になると生い繁った葉の間から漏れる日差しが秋を感じさせてくれます。2班の作業は、年間を通して同じ作業を室内でやっている所以季節感がないのですが、今年は作業棟に冷房機がなかったので暑い夏を体感できました。しかし、園生たちは暑くても何の不平も言わず黙々と汗して作業に取り組んでくれました。皆が頑張った収入でジュースを買い嬉しそうに飲み干す、その姿に小さな幸せを見、これからも頑張ってくれるであろう彼らにもっともっと嬉しさを、楽しさを、幸せを体験してほしいと思う、もの思ふ秋。

田辺

5班 - 天高く・・・

稲穂を渡る秋風が心地よい今日この頃、皆様如何お過ごしでしょうか？いつも外で作業をしている園芸班にとって、この時期は過ごし易くなるというだけでも嬉しい事なのですが、毎年恒例となっている収穫作業がはじまるという楽しい時期でもあります。園芸班には『収穫する』と呼ぶべき作物は何も無いのですが、周囲の方々の好意で色々な物の収穫を楽しませて頂いています。まずは9月中旬に蘇陽町でのブルーベリー狩。皆手慣れた様子で袋へ摘み取れるようになりましたが、これまでの経験からか、甘い実の生る木ではどうしてもニコニコしながら口へ入る方が多くなります。次は9月下旬に大津町で行う栗拾いです。こちらは何と言ってもイガという強敵がありますので、慣れてはきたもののまだまだ用心しながら怖々という感じです。終わりは10月中旬に内牧まで杜仲茶摘みに出掛けます。大きな竹籠へ摘み取る手つきも方法も皆違いますが、背空の下での楽しそうな笑顔は一緒です。そして全ての作業に共通している何よりも嬉しい事は、一緒に作業をされる方々が引いたり構えたりする事なく普通の仲間と接するような方法で収穫の仕方を教えて下さったり話をして下さる事です。園内の作業やお手伝いで職員に誉めてもらえる機会はあるにしても、一般の人達と一緒に汗を流し、誉めてもらったり、話し相手をしてもらうという機会はなかなかありません。そういう意味でもこれらの作業はとてめえありがたい作業なのです。

多くの方々が御好意から与えて下さった作業です。「又、おいで。」と言ってもらえるように頑張りと、絆を育てていきたいと考えています。

高く高く澄みわたった青空の下、園芸班元気です。

東

3 班 - 秋を満喫

風が心地よく、過ごしやすい季節になりましたね。食べ物もおいしく、ついつい食べ過ぎてしまう秋、読書の秋、芸術（製作）の秋ですが、木工班にとっての秋は“力仕事の秋”で始まりました。運動会に向けてグラウンドに置いてあった丸太を移動させる事になり、木工班のみんなは大活躍をしました。久しぶりの丸太運びで初日は途中で落としてしまう人もいましたが、二日目には昔のカンを取り戻したのでしょうか、落としたりする事なく上手に運んでいました。丸太の置き方もケガをしないようにそっと置きます。（投げたり、落とすと、ペアで運んでいる人が危ないからです。）「木工班のみんなが一番上手！」と感心しながら四年前の冬、菊池での山作業を思い出しました。あの頃に比べると人数も増え、雰囲気も変わったけど木工に取り組む姿勢は変わりません。製作の秋、食欲の秋（先日のバーベキューでは見事な食べっぷりでした。）を満喫しながらすてきな製品作りに励みます。

今村

4 班 - 采火

あの暑い日差しと戦いながら、草取りに励んでいた夏の日々が嘘のように涼しくなり、頬をなでる風に心地よさを感じながら、農耕班は変わらず頑張る毎日です。現在は種の植え付けをしています。白菜・大根etc…。今から楽しみですネ！ところで、農耕班は秋を満喫しようと去る9月19日（火）に河内町の優峰園へ、梨・ブドウ狩りへと出掛けました。澄み切った青空に生い茂る木々の緑、そしてたわわに実った梨やブドウ達！！見るだけでニヤけていたのは、私だけでしょうか…。

着くや否や辺りの梨やブドウを「これでもか！」というほど頬ばっていた功一くん、信ちゃん、泰くん、潔くん、光紀くん、創くん、浩一くん、高志くん。自然が一杯で大喜びだった賀文くん。ゆっくりと味わっていた雅晴くん、憲吾くん、一裕くん、隆博くん、聡くん、緑恵ちゃん、久美ちゃん。みんな笑顔で一杯でした。指導員は…負けじと頬ばっていたような。とにかく“秋”を満喫した一日でした。

麻生



療育シリーズ

人権と処遇

園長 土井 尚典

「入所女性を閉鎖処遇」という記事が8月の末に熊本日日新聞に掲載された。その内容は「ある更生施設で、問題行動を続ける重度の女性障害者を部屋に閉じ込める閉鎖処遇を繰り返し、行政から人権侵害と改善指導を受けていた。施設側は事実を認めているが、処遇の在り方については話し合いが続いている」というものであった。

施設の目的(法の趣旨)は、保護と独立生活に必要な知識技能の付与をうたっている。要約すると①基本的人権を守り、その日々の生活を保証する事。②発達を保証し、可能な限り自立生活を営めるよう指導・援助する事である。

現場での実際は①利用者の独立生活の意義が薄れ、②更生施設と授産施設の機能分化が進み、③更生施設は重度化が進み、④高齢化も進み、⑤治療教育的処遇の必要性が緊急である。

どんなにすばらしい処遇マニュアルがあっても、法の趣旨の中に、施設の「機能分化と治療教育的処

遇」をうたわないと「予算的・人的配置」が伴わない。具体的に言えば、人的には、心理士、言語療法士、作業療法士、機能訓練士等の配置が必要であり、物的には設備や教材が必要である。指導員と一般生活費でひとくりりされてしまう性質のものではないと思う。

記事の論点は人権の問題である。施設では、実際には見方を変えれば、日々人権問題ストレスの事が起きている。まず入所に当たっては、本人の為に「良かれ」と思っ

である。当該利用者に関するたぐさんのデータ(情報)があれば方針はたてやすい。可能ならば医学的・心理的・言語治療的・作業療法的・機能訓練的データ、保護者の意見、そして本人の意見等などである。



自傷、対人・対物攻撃行動等の不適応行動の対応には、その方法を検討するときは、十分な資料と関係者の意見が必要である。方法の適用に当たっては、①人権に触れる恐れがあると思われるときは、すくなくとも保護者の承認が必要である。②特に、今はその方法以外に、適当な他の処遇方法が見つからないという前提である。③実施する時は、一定の時間内に限ること。④必ずスタッフが見守ること。⑤定期的に評価をすること。⑥絶えず処遇方法について研究・検討すること。⑦そして、いつまでもこのような処遇を続けないことである。

ケネディ大統領の精神薄弱委員会での演説を紹介します。「精神薄弱者に全ての人が深い関心をもつように、英知と人間性は命令する。我々がこれら不幸な人々に関心を寄せるのは、単なる政治の指標の為でないし、また国家の利益や人的資源の為でもない。それはアメリカの未来を開くカギだからである」(「心身障害児教育と社会」伊藤隆二編より)。

食良堂 学芸部 中

毎日、厨房のお手伝いをしてくれる由美ちゃんは、最近自分の鍵をもらって以来、毎朝厨房に一番に来るのが楽しみになりました。自主的に手伝いに来てくれるようになったことを、私達はとてもうれしく思います。

これから段々寒くなって、朝起きるのが辛くなるけど、明日も由美ちゃん一緒にがんばろうね!

村上

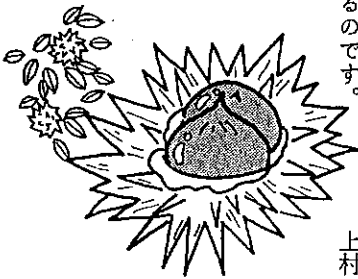


栄養の話

「野菜はゆでるよりもレンジで加熱」

野菜を加熱する場合、お湯でゆでるよりも電子レンジを使ったほうがビタミンCの損失を防ぐことができます。例えば、ブロッコリーを電子レンジで加熱しても95%位のビタミンCが残るのに比べて、ゆでた場合は2分の1から3分の1になってしまいます。それから人参、かぼちゃなどにはビタミンCを破壊するアスコルビナーゼという酵素が含まれていますが、電子レンジにかけることによって、この酵素が働かなくなるという効果もあるのです。

上村



お礼

石崎様より洗剤を頂きました。ありがとうございます。



発達障害指導技法勉強会

山口 裕之

三気の里では、処遇困難事例研究事業として、ポータージプログラムの実践的な勉強会を毎月第三土曜日の午後到大津町老人福祉センターで行っています。

ポータージプログラムは、障害を持つ子どもの保護者や指導者につくられた子どもの指導技術です。近隣施設の指導者と障害を持つ子どもの保護者が一緒に勉強会を開き、具体的な指導方法を立て、実践し、その指導を検討しながら勉強して行く会です。

場所 大津町老人福祉センター
時間 午後1時30分～午後4時
※詳しくは三気の里まで

施設親善スポーツ大会

指導員・坂井 省英

施設親善スポーツ大会が、秋の訪れとともに、毎年各地区を巡って開催されて来た。

今年は、9月9日土曜日、宇土市総合グラウンドと体育館を利用して、県下60余り施設から精鋭たちが集い、フットベイスボールとミニバレーとに分かれ熱戦が繰り広げられました。

毎年、三気の里でも参加したいと考えながら、ルール・ゲームの理解が難解な為、今回まで参加を見合わせて来ました。役員として協力参加して来たのですが、例年ルールの簡素化を進め、施設毎の参加もふえていくようです。

是非、将来は三気の里でも参加したいものだと思を馳せて参りました。

ふれあい・心
バザール

みてください。
ふれあってください。
そしてわたし達の心を
感じて下さい。

第15回
熊本県精神障害者施設
作品展示即売会

10月28日・29日(2日間)
10:00-18:00

熊本県立中央公民館(旧山口地区福祉センター)



会場へのご案内

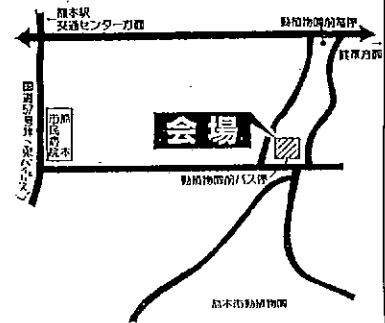
※駐車場は、県庁駐車場をご利用願います。尚、駐車台数に限りがありますので、同乗もしくは公共交通をご利用ください。
(期間中、県庁駐車場から会場まで無料送迎バスを運行します。)

●電車

熊本駅前発
交通センター前発
(JR東方面行)
5～7分間隔で運行
動物物前発
(交通センター・熊本駅前方面行)
5～7分間隔で運行

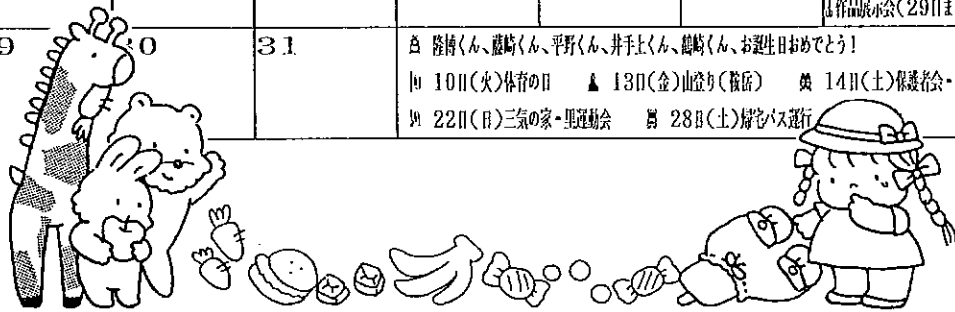
●送迎バス

熊本駅前発
(交通センター・JR東方面行)
土曜日 7～15分間隔で運行
日曜日 10～20分間隔で運行
交通センター発(JR東方面)
市議会館前発
4～9分間隔で運行
動物物前発
(交通センター・熊本駅前方面行)
5～10分間隔で運行



10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10 体育の日	11	12	13 ▲山登り(飯岳)	14 ▲保護者会・帰宅日	
15	16	17	18 ▲4歳未満レク<山口・四国>20日まで りりさんの誕生日(43)	19	20	21	
22	23	24	25 ♪タンポポ編織日	26	27	28 ▲帰宅バス ▲作品展示会(29日まで)	
29	30	31	☆ 隆博くん、藤崎くん、平野くん、井手上くん、鶴崎くん、お誕生日おめでとう! ㊤ 10日(火)体育の日 ▲ 13日(金)山登り(飯岳) ㊤ 14日(土)保護者会・一斉帰宅日 ㊤ 22日(日)三気の家・里運動会 ㊤ 28日(土)帰宅バス運行				



ボランティア通信

朝晩の風が少し肌寒く感じられるようになり、先月の猛暑がウソのように過ぎし暑い季節となりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか？

9月23日(土)に予定されていた三気の家・三気の家による合同運動会が台風の為、10月22日(日)に延期となりました。秋空の下、みんなと一緒に身体を動かしてみませんか？お手伝いをして下さるボランティアの方々が募集します。詳細はボランティア担当、満原・石丸・佐藤まで。多数の方々の参加をお待ちしております。

佐藤

☆生け花 西村栄子

後援会入会

ありがとうございます

- 宮口純一 中嶋 始 坂井久美子
- 小篠武明 田中慶秀 山室誠弥
- 石井暁子 富永 充 宮原富美子
- 東嶋敏子 清藤節子 松田雄二
- 前田修誠 坂梨賢司 財賀彌至
- 野田 剛 伏貫直美 原田由美子
- 川島末男 田尻宗誠 山崎日出男
- 白浜哲也 角田義綱 中野美津子
- 角田博司 今井英雄 濱本奈智子
- 國本純雄 井上光信 宇和田幸子
- 西村栄子 吉田俊子 坂本シマコ
- 堤耕一郎 福田医院 市川しおり
- 五島建夫 尾崎元昭 大村桂子
- 本多邦雄 東田昌子 大石研一
- 加藤勤子 吉永二子 池永ユキエ
- 四宮朝子 佐藤静子 稲葉千代子
- 岩崎一雄 中村正敏 小串夏代
- 門岡蓉子

平成七年九月二十九日付け

※敬称略

編集後記

今月100号を迎えるたんぼ。今まで100回こうして、2年目の職員が雑談しながら、編集をして来たんだなあと、思うと感慨深いです。…なあくんで浸っていると目の前に梨の差し入れが。食欲の秋ですネ。吉田